

10月例会

2024. 10. 16 日 時 令和六年十月十六日(水)

テーマ データでわかる2030年雇用の未来

講師 株式会社ニユーラルのCEO、信州大学特任教授

夫馬賢治氏



夫馬賢治氏

■ 略 歴

ハーバード大学大学院サステナビリティ専攻修士課程修了。サンダーバード・グローバル経営大学院MBA修了。東京大学教養学部国際関係論専攻卒。サステナビリティ経営・ESG投資アドバイザーリー会社を2013年に創業し現職。上場企業の社外取締役やアドバイザーを多数務める。ニュースサイト「Sustainable Japan」編集長。環境省、農林水産省、厚生労働省、経済産業省、スポーツ庁のESG関連の有識者委員や国際会議での委員を歴任。テレビ、ラジオ、新聞、WEBメディア等で解説を担当。

環境問題を克服する資本主義の到来

ネイチャー資本主義

夫馬賢治 Fuma Kenji

PHP新書 1326

経済の大転換を直視せよ

環境問題の理解なしには経営も投資もできなくなる

PHP新書 定価:1,045円(10%税込)

ネイチャー資本主義 環境問題を克服する資本主義の到来、PHP研究所 (2022/9/16)

夫馬賢治

データでわかる2030年雇用の未来

2070年に日本の外国人比率は2割に!?

再生可能エネルギーで賃金が下がる産業は?

農業革命で世界8.6億人の雇用はどうなるか

自動車産業では約600万人の雇用が失われる?

生成AIで影響を受けるのは先進国のホワイトカラー

21世紀の「産業革命」を日本人はまだ知らない

日経プレミアシリーズ

データでわかる2030年雇用の未来、日経BP (2024/7/9)

2024. 11. 13

# 11月例会

日時 令和六年十一月十三日(水)

テーマ 日本経済の故障箇所

講師 東京都立大学 経済経営学部 教授

脇田成氏

## ■ 略 歴

1985年東京大学経済学部卒業、1986年東京大学大学院経済学研究科修了。東京大学社会科学研究所助手、旧・東京都立大学助教授、教授を経て首都大学東京教授。2005年東京大学博士号(経済学)取得。研究分野は、マクロ経済学、労働経済学。著書に、日本経済の故障箇所(日本評論社, 2024)、日本経済論15講(新世社, 2019)、ナビゲート! 日本経済(筑摩書房, 2010)、日本経済のパースペクティブー構造と変動のメカニズム(有斐閣, 2008)他多数。

脇田成氏



日本経済の故障箇所、日本評論社 (2024/7/2)



日本経済論15講(ライブラリ経済学15講 APPLIED編 7)、新世社 (2019/1/1)

# 12月例会

2024. 12. 19

日時 令和六年十二月十九日(木)

テーマ 資源と経済の世界地図

講師 東京大学公共政策大学院教授・国際文化会館地経学研究所長

鈴木一人氏



鈴木一人氏

## ■ 略 歴

立命館大学大学院国際関係研究科修士課程修了、英国サセックス大学大学院ヨーロッパ研究所博士課程修了(現代ヨーロッパ研究)。筑波大学大学院人文社会科学専任講師・准教授、北海道大学公共政策大学院准教授・教授などを経て2020年10月から現職。

国連安保理イラン制裁専門家パネル委員(2013-15年)。2022年7月、国際文化会館の地経学研究(IOG)設立に伴い所長就任。2012年、『宇宙開発と国際政治』(岩波書店)で第34回サントリー学芸賞受賞。



# 資源と

The World Atlas of Resources and Economies

# 経済の

Suzuki Kazuo  
鈴木一人  
東京大学公共政策大学院教授  
地経学研究所長

なぜ、資源を知るために「貿易、や  
世界秩序」への理解が必要なのか

# 世界

「今、世界で起きていること」  
「これから日本に起きること」  
がわかる

# 地図

定価 本体2,150円(税別) PHP

## 地政学 × 経済学の決定版

小泉悠氏推薦  
経済が戦争になり、  
戦争が経済になる。  
今や日々の生活と  
安全と保障は地続きで  
あることを本書は示す。

資源と経済の世界地図、PHP研究所 (2024/7/24)



# 経済安全保障と 技術優位

Economic  
Security  
and  
Technological  
Superiority

鈴木一人・西脇修  
編著  
鈴木一人・佐藤丙午・石川正樹・西脇修・土屋貴裕  
中山智弘・鈴木和泉・長島純・齋藤孝祐・北嶋林

「日本にはまだ、どの研究機関で、どんな研究チームが、どこから、どのくらいの研究資金を得て、先端新興技術の研究を行っているか、(中略)そうした研究の安全保障上の意味合いはどれほど大きいのか、日本の経済安全保障には、どんな技術があればよいか、こうした調査研究も必要である。科学技術政策でも産業政策でも「知る」「守る」「育てる」が基本である。まずはできるだけ体系的に「知る」ところから経済安全保障政策は出発する必要がある。」  
〔「経済安全保障と技術優位」によせてより〕

政策研究大学院大学名誉教授

白石 隆

keisoshobo

経済安全保障と技術優位、勁草書房 (2023/8/21)